



ナンバー・ディスプレイ

	ページ
ナンバー・ディスプレイを利用する……	8-2
ネーム・ディスプレイを利用する……	8-6
キャッチホン・ディスプレイを 利用する……	8-7
着信記録を表示する……	8-10
着信記録を使って電話をかける……	8-12
着信記録を使ってファクスを送る……	8-14
着信記録から親機の電話帳に登録する…	8-16
着信記録から子機の電話帳に登録する…	8-17
着信鳴り分け……	8-18
着信の種類に合わせてお断りの メッセージを流す……	8-21
特定の番号からの電話にお断りの メッセージを流す……	8-23



ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、かかってきた相手の方の電話番号を表示するサービスです。

このサービスをご利用の際は、利用契約が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。
サービスを契約したあとは、必ずナンバー・ディスプレイを「使用する」に設定してください。(P.8-3ページ)
ナンバー・ディスプレイの設定は、はじめは「使用する」に設定されています。

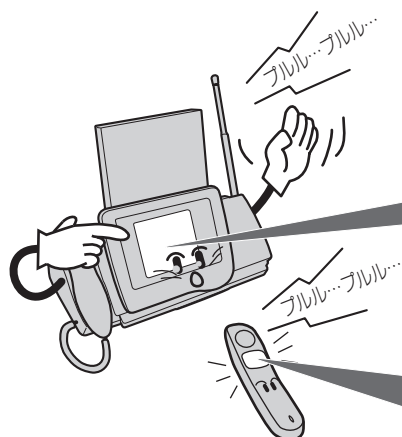


電話がかかってくると…

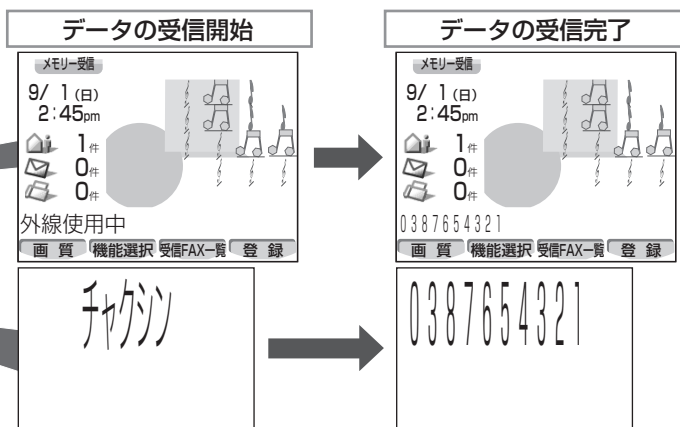
■相手の方の番号を表示します。

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイ

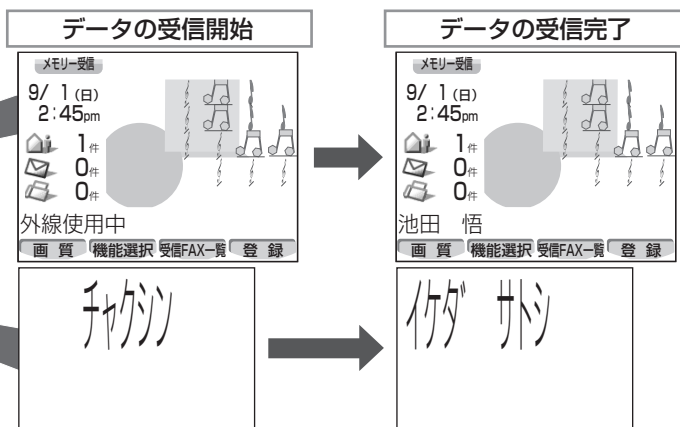
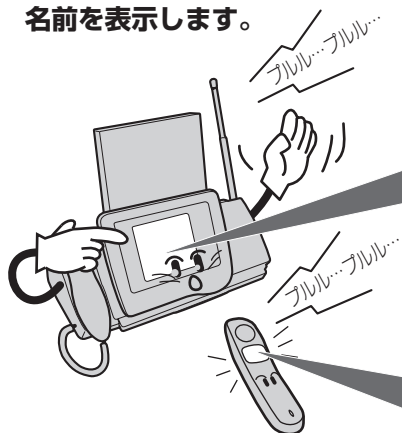


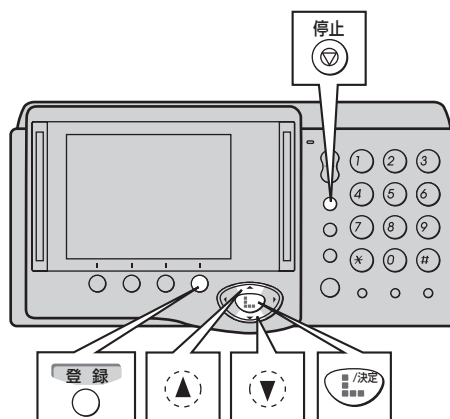
あら
電話がかかってきたわ
誰かしら



■親機や子機の電話帳に登録している相手の方から電話がかかってきたときは、親機では電話帳に登録している名前と電話番号を交互に表示します。子機では電話帳に登録している名前を表示します。

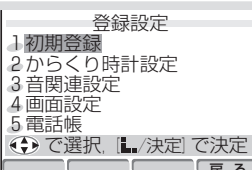
あら
サトシさんからの電話ね



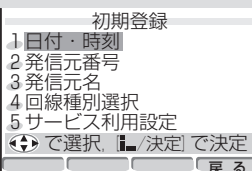


ナンバー・ディスプレイを利用設定する

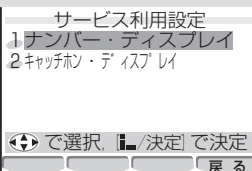
1 登録を押す



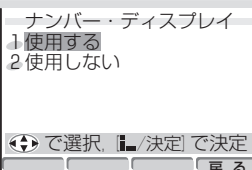
2 「初期登録」を選び、「決定」を押す



3 ▲または▼で「サービス利用設定」を選び、「決定」を押す



4 「ナンバー・ディスプレイ」を選び、「決定」を押す



●はじめは、「使用する」になっています。

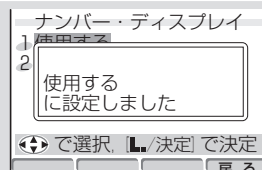
■途中でやめるときは

停止を押します。

■1つ前に戻るときは

戻るを押します。

5 「使用する」を選び、「決定」を押す



- 「使用する」に設定されます。
- ナンバー・ディスプレイや、Lモードサービスを利用しないときは、「使用しない」を選び、L/決定ボタンを押します。

6 停止を押す

お知らせ

- 構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイの利用設定を「使用しない」に設定してください。
- ナンバー・ディスプレイをISDN回線でお使いのときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ (TA) をお使いください。
- Lモードサービスをお使いのときに、ナンバー・ディスプレイの利用設定が「使用しない」に設定されていると、メールが届いたときに着信音は鳴りますが、メッセージ有り通知が表示されません。

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイ



ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイを利用する

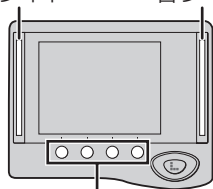
ナンバー・ディスプレイ

ディスプレイ表示		着信情報
親機	子機	
		<p>相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します。（「通常通知（通話ごと非通知）」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します。）</p>
		<p>相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときで、親機や子機の電話帳に登録している相手の方から電話がかかってきたときは、親機では名前と電話番号を交互に表示し子機では名前を表示します。す。（親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。）親機や子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。</p>
		<p>相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します。（「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します。）</p>
		<p>相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたときやサービスの契約条件等により、番号が表示できないときに表示します。（国際電話、船舶電話、新幹線電話など）</p>
		<p>相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。 公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「非通知」になります。</p>
		<p>回線の状態などで、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できなかったときに表示します。</p>
		<p>呼出音が鳴る前に、NTTから相手の電話番号データを受信しています。この表示のときに、電話に出ることはできません。</p>

■ かかってきた相手の方の電話番号によって、着信時の左右ライト・ソフトボタンの光り方が変わります。

左ライト

右ライト



ソフトボタン

かかってきた相手の方の電話番号	左右ライト	ソフトボタン
電話番号通知	緑点滅	消灯
電話番号通知 （電話帳に登録されている）	緑点滅	緑点滅
非通知／表示圏外／公衆電話	緑→赤点滅（交互）	消灯
受信エラー	赤点滅	消灯

※着信時に左右ライト・ソフトボタンを光らないようにすることができます。

（☎ 1-17ページ）



着信鳴り分けを設定したときは

電話がかかってきたときに、親機は、親機の電話帳に登録されている方の、子機は、着信の種類に合わせて呼出音の鳴り方を変えてお知らせします。(☎8-18～8-20ページ)

非通知お断りを設定したときは

相手の方が番号非通知(「184をダイヤル」または、「通常非通知」(回線ごと非通知))で、電話をかけてくると、こちら側では呼出音が鳴らずにお断りのメッセージを流すことができます。(☎8-21～8-22ページ)

公衆電話お断りを設定したときは

相手の方が公衆電話から電話をかけてくると、こちら側では呼出音を鳴らさずにお断りメッセージを流すことができます。(☎8-21～8-22ページ)

お断りする番号を登録したときは

あらかじめ特定の番号を登録しておくと、登録した相手の方から電話がかかってきたときに呼出音を鳴らさずにお断りのメッセージを流すことができます。(☎8-23～8-24ページ)

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイを開始後に、サービス利用設定のナンバー・ディスプレイ(☎8-3ページ)を「使用しない」に設定されていると、電話がかかってきたときに、はじめに短い呼出音が5～6回鳴り、このときに電話に出ると切れてしまいます。このあと通常の呼出音が鳴ってから、電話に出てください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、在宅モード時のコール回数(☎4-14ページ)や、留守モード時のコール回数(☎5-3ページ)を2回以上に設定してください。
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイに表示されるのは、親機では20ケタ表示しますが、子機では12ケタまでです。
- 内線通話中やドアホン通話中に電話がかかってきたときは、子機では、着信表示されません。
- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機(PBX)や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。
- 停電時に、ナンバー・ディスプレイを利用した機能は、ご利用になれません。
- 同じ番号を親機や子機の電話帳に登録すると、ナンバー・ディスプレイの名前表示(親機や子機の電話帳に登録している相手の方からの名前表示)が正常に動作しないことがあります。
- 相手の方が、ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、発信時に相手の方につながるまでの時間が長くなる場合があります。
- 1本の電話回線に2台以上の電話機などを接続(ブランチ式接続)してご利用の場合は、発信電話番号が正確に表示されないことがあります。
- ナンバー・ディスプレイを契約していて電話がかかってきたときに、左右ライトとソフトボタンが点滅している場合でも、交換機の不具合などや転送電話の場合は、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できていないことがあります。

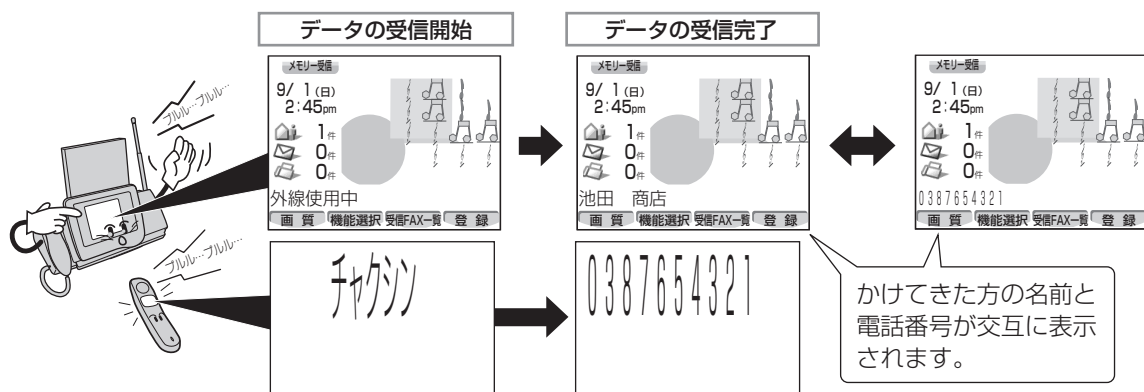


ネーム・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイを契約（有料）すると、電話に出る前にかけてきた方の名前や会社名を画面に表示させることができます。（かけてきた方が番号通知・発信者名通知を選択している場合のみ表示されます。）

このサービスをご利用の際は、ネーム・ディスプレイの利用契約のほかにナンバー・ディスプレイの利用契約（有料）が必要です。サービスを契約したあとは、「ナンバー・ディスプレイ」の設定が「使用する」になっていることを確認してください。（☎8-3ページ）

電話がかかってくると…

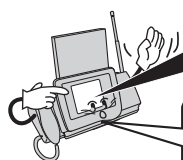


ディスプレイ表示		着信情報
親機	子機	
		<p>親機の電話帳に登録していても、かけてきた相手の方の名前（または会社名）と番号を交互に表示します。このとき子機は番号のみを表示します。</p>

- かかってきた電話番号が親機の電話帳に登録している方と一致したときは、親機の電話帳に登録している名前を表示します。（かけてきた方が発信者名の情報を通知しなくても親機の電話帳に登録している電話番号と一致すると親機の電話帳に登録している名前を表示します。）親機の電話帳に登録していない方のときは、受信した発信者名を表示します。

（相手の方）

名前：池田 商店
電話番号：0387654321



電話帳
池田 商店
0387654321

- かかってきた相手の方の電話番号によって、着信時の左右ライト・ソフトボタンの光り方がわかります。（☎8-4ページ）

お知らせ

- 電話をかけてきた方が発信者名を表示する設定にしていない場合、名前は表示されません。ただしその場合でも、電話番号が、親機の電話帳に登録している番号と一致すると、親機の電話帳に登録している名前を表示します。
- 親機の電話帳に登録している内容によって発信者名の表示が異なることがあります。
- ネーム・ディスプレイでは、相手の方の名前または会社名を全角10ケタまで記録・表示します。
- ネーム・ディスプレイ機能は、子機では使えません。
- 携帯電話・PHS・国際電話・公衆電話からの着信時、発信者名は表示されません。
- 本商品で表示できる漢字（JIS 第1水準およびJIS 第2水準）以外の漢字コードを受信した場合は、画面上に「※」を表示します。
- キャッチホン・ディスプレイ（☎8-7～8-9ページ）を利用されているときは、通話中にかかってきた相手の方の名前を表示します。

キャッチホン・ディスプレイを利用する

NTTのキャッチホン・ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができます。

■ このサービスをご利用の際は、①～③のNTTサービスへの利用契約が必要です。

- ① ナンバー・ディスプレイ（有料）
- ② キャッチホン・ディスプレイ（有料）
- ③ キャッチホン／キャッチホンⅡ／マジックボックス／ボイスワープ／話中転送サービス

※ ③についてはいずれかの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

■ サービスを契約したあとは、2つの設定をする必要があります。

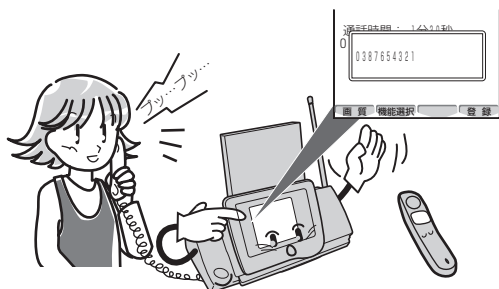
- ・ 必ずキャッチホン・ディスプレイ（サービス利用設定）を「使用する」に設定してください。（☎8-8ページ）
- また、ナンバー・ディスプレイ（サービス利用設定）が「使用する」になっていることを確認してください。（☎8-3ページ）

■ 通話中に電話がかかってくると、相手の方の番号を表示します。

親機で通話中に受けたときは

親機のみ相手の方の番号を表示して、子機には表示しません。

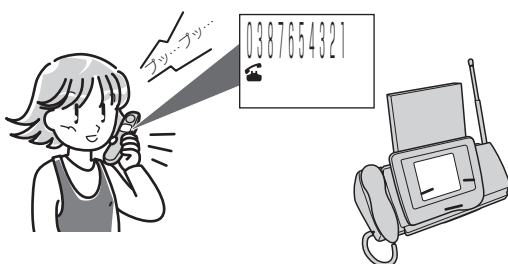
データの受信完了



子機で通話中に受けたときは

子機のみ相手の方の番号を表示して、親機には表示しません。

データの受信完了



■ 親機や子機の電話帳に登録している相手の方から通話中に電話がかかってきたときは、名前を表示します。

親機で通話中に受けたときは

親機のみ相手の方の名前を表示して、子機には表示しません。

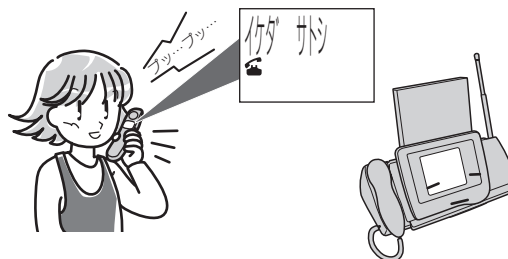
データの受信完了



子機で通話中に受けたときは

子機のみ相手の方の名前を表示して、親機には表示しません。

データの受信完了



📞 お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイで電話を受けたときは、通話中にかかってきた電話も着信記録に残ります。（☎8-10～8-11ページ）
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイに表示されるのは親機では20ケタですが、子機では12ケタまでです。
- 親機・子機の両方で名前を表示するためには、それぞれ両方の電話帳に名前と電話番号を登録してください。



キャッチホン・ディスプレイを利用する

「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の時は、設定を必ず「使用する」にしてください。
(はじめは、「使用しない」に設定されています。)

※ サービスを契約しているのに、利用設定を「使用しない」に設定していると、電話を受けられないことがあります。



キャッチホン・ディスプレイ (番号表示) を利用設定する



1 登録を押す

登録設定

- 1 初期登録
- 2 からくり時計設定
- 3 音関連設定
- 4 画面設定
- 5 電話帳

◀▶ で選択, [決定] で決定

戻る

4 ▲または▼で「キャッチホン・ディスプレイ」を選び、[決定]を押す

キャッチホン・ディスプレイ

- 1 使用する
- 2 使用しない

◀▶ で選択, [決定] で決定

戻る

2 「初期登録」を選び、[決定]を押す

初期登録

- 1 日付・時刻
- 2 発信元番号
- 3 発信元名
- 4 回線種別選択
- 5 サービス利用設定

◀▶ で選択, [決定] で決定

戻る

5 ▲または▼で「使用する」を選び、[決定]を押す

キャッチホン・ディスプレイ

- 1 使用する
- 2 使用しない

使用するに設定しました

◀▶ で選択, [決定] で決定

戻る

3 ▲または▼で「サービス利用設定」を選び、[決定]を押す

サービス利用設定

- 1 ナンバー・ディスプレイ
- 2 キャッチホン・ディスプレイ

◀▶ で選択, [決定] で決定

戻る

6 停止を押す

■途中でやめるときは

停止
を押します。

■1つ前に戻るときは

戻る
を押します。

お知らせ

- 保留中、留守番電話動作中、ファクス送受信中は、電話番号や相手の方の名前などをディスプレイに表示しません。
- キャッチホン・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイを利用するときは、次の点に注意ください。
 - ・ ファクス送信中／受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、通信エラーになることがあります。
 - ・ キャッチホンⅡを利用して、割り込み回数を「0」回に設定すると、割り込みが入らなくなりますので番号表示されません。
 - ・ キャッチ/消去ボタンを利用した後のみ、「おまかせ受信」機能が働きません。(ファクス受信するときは、スタートボタンを押してください。)
- 通話中にキャッチホン着信が入ると、約1秒程度の無音状態が発生することがありますが、故障ではありません。
- ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポートや構内交換機(PBX)に接続すると、キャッチホン・ディスプレイが使えない場合があります。
- キャッチホン・ディスプレイを契約後に、「使用しない」に設定されていると、電話がかかってきたときに、はじめに「ピポッ・ビュッ」という音が鳴ったあととキャッチホンの呼出音が鳴ります。
- キャッチホン・ディスプレイで着信したときは、ナンバー・ディスプレイ機能の中の非通知お断りや公衆電話お断り、お断り番号などは働きません。(相手の方にメッセージは聞こえません。)
- キャッチホン・ディスプレイをご利用にならない場合は、利用設定を「使用しない」に設定してください。お話し中の声で、キャッチホン・ディスプレイが働いて通話が途切れてしまうことがあります。
- 1本の電話回線に2台以上の電話機などを接続(ブランチ式接続)してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないことがあります。
- 停電時端子に接続した電話で停電通話中にキャッチホンが入ると「ピポッ・ビュッ」という音がしますが、電話番号などの表示はできません。
- 通話中の声により通話が途切れる場合があります。
- キャッチホン着信時には、1秒程度の無音状態が発生します。
 - また、従来の着信表示音に加えて「ピッ」といった割り込み音が入ります。この割り込み音とお話し中の声が重なると電話番号の表示ができないことがあります。
- あとからかけてきた方の電話番号などはファクス本体で約20秒間、コードレス電話機で約30秒間表示されます。



通話中に電話がかかってきたときは

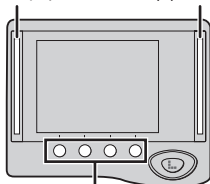
ディスプレイ表示		着信情報
親機	子機	
		相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します。（「通常通知（通話ごと非通知）」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
		相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときで、親機や子機の電話帳に登録している相手の方から電話がかかってきたときは名前を表示します。（親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。） 親機や子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。
		相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します。（「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
		相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたときや、サービスの契約条件等により、番号が表示できないとき表示します。（国際電話、船舶電話、新幹線電話など）
		相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「非通知」になります。
		回線の状態などで、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できなかったときに表示します。

キャッチホン・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイ

■ かかってきた相手の方の電話番号によって、着信時の左右ライト・ソフトボタンの光り方が変わります。

左ライト 右ライト



ソフトボタン

かかってきた相手の方の電話番号	左右ライト	ソフトボタン
電話番号通知	緑点滅	消灯
電話番号通知 （電話帳に登録されている）	緑点滅	消灯
非通知／表示圏外／公衆電話	緑→赤点滅	消灯
受信エラー	赤点滅	消灯

※着信時に左右ライト・ソフトボタンを光らないようにすることができます。（P.1-17ページ）

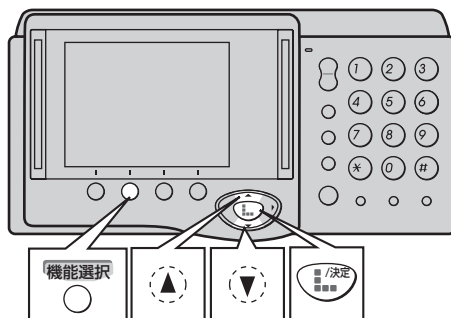
お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイの割り込み着信表示は、親機（20秒）／子機（30秒）表示して、通話中表示に戻ります。
- 次のようなときは、電話番号を表示しない場合があります。
 - ・ 大きな声で通話しているとき ・ 周囲が騒がしいとき
 - ・ 設置場所からNTTの交換機まで距離が離れすぎているとき



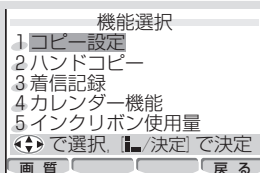
着信記録を表示する

NTTのナンバー・ディスプレイやキャッチホン・ディスプレイ（☎8-7ページ）を契約（有料）すると、着信記録が最大20件まで記録されます。着信記録の番号や親機や子機の電話帳に登録している名前をディスプレイに表示することができます。
20件を超えると古い着信記録から消去されます。



親機で着信記録を表示する

1 機能選択を押す



2 ▲ または ▼ で「着信記録」を選び、決定を押す

- かかってきた相手の方の番号（親機の電話帳に登録しているときやネーム・ディスプレイを利用されているときは名前）と日付・時刻を表示します。



3 ▲ または ▼ で選ぶ

- ▲を押すと1件新しい着信記録が選択されます。
- ▼を押すと1件古い着信記録が選択されます。

着信記録を表示する

ナンバー・ディスプレイ

■ 着信記録の表示をやめるときは

- 停止 (⏏) を押します。

■ 親機の着信記録を1つだけ消去するとき

- 機能選択を押す
- ▲ または ▼ で「着信記録」を選ぶ
- 決定 (決定) を押す
- ▲ または ▼ で、消去する着信記録を選んで、
キャッチ/消去 (L 回線断) を押す
- もう一度、
キャッチ/消去 (L 回線断) を押す
(選択されている着信記録が一件、消去されます。)
- 停止 (⏏) を押す

■ 親機の着信記録をすべて消すときは

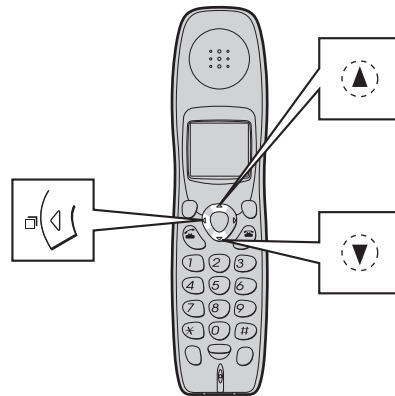
- キャッチ/消去 (L 回線断) を押す
- ▲ または ▼ で「着信記録 全消去」を選び、決定 (決定) を押す
- 決定 (決定) を押す

お知らせ

- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 着信記録の番号を親機の電話帳に登録することができます。（☎8-16ページ）
- 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。



子機でも、かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号や子機の電話帳に登録されている名前をディスプレイに表示することができます。



子機で着信記録を表示する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1. [左矢印] を2回押す



- 最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
- 再ダイヤルを消去しているときは [右矢印] を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

2. [上矢印] または [下矢印] で選ぶ



- [上矢印] を押すと1件新しい着信記録を表示します。
- [下矢印] を押すと1件古い着信記録を表示します。
- 選んだあと、[右矢印] を押すと着信のあった日付・時刻を表示します。

■ 着信記録の表示をやめるときは

[切] を押します。

■ 子機の着信記録をすべて消すときは

- ① [通話] を消灯させた状態で、[機能] を押す
- ② [上矢印] または [下矢印] で「チャクシンキロクリ」を選んだあと、[機能] を押す
- ③ もう一度、[機能] を押す

着信記録を表示する

ナンバー・ディスプレイ

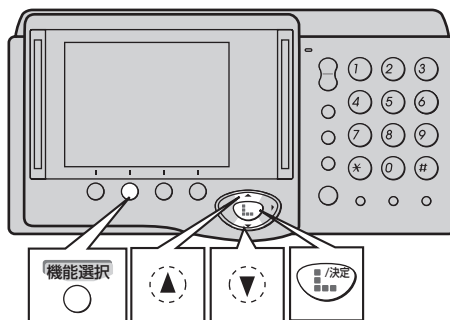
お知らせ

- 着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
- 着信記録の番号を、子機の電話帳ダイヤルに登録することができます。(P.8-17ページ)
- 子機の着信記録を1件ずつ消すことはできません。
- 子機ではナンバー・ディスプレイに契約していないと、着信のあった日付・時刻を表示することはできません。



着信記録を使って電話をかける

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示して電話をかけることができます。21件以上着信すると古い着信記録から順に自動的に消えます。



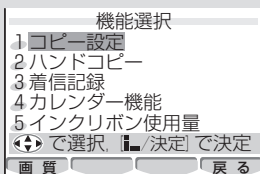
着信記録を使って電話をかける

ナビダイヤル

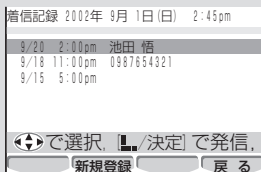


親機の着信記録を使って電話をかける

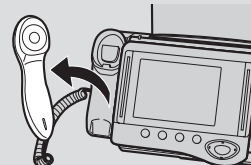
1 機能選択を押す



2 ▲または▼で「着信記録」を選び、決定を押す

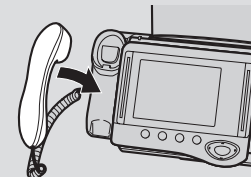


3 ▲または▼で選んだあと、受話器を取る



- ▼を押すと1件古い着信記録が選択されます。
- ▲を押すと1件新しい着信記録が選択されます。
- L/決定ボタンまたはスピーカホンボタンを押すとスピーカホンで話すことができます。

4 通話が終わったら受話器を戻す



- L/決定ボタンまたはスピーカホンボタンを押して電話をかけたときはスピーカホンボタンを押します。

■途中でやめるときは

受話器を戻します。

決定 または スピーカホン を押して電話をかけたときは
スピーカホン を押します。

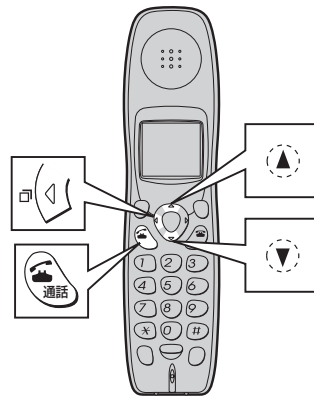
■受話器を取ったあと、着信記録を使って電話をかけるときは

- ① 受話器を取る（受話器を置いたまま電話をかけるときは、スピーカホンを押す）
- ② 機能選択 を押したあと ▲ または ▼ で「着信記録」を選んで 決定 を押す
- ③ ▲ または ▼ で選んだあと、決定 を押す
- ④ 相手の方とお話する
- ⑤ 通話が終わったら受話器を戻す（スピーカホンボタンを押してダイヤルしたときは、スピーカホンボタンを押す）

■184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは

左記の①のあとに「184」や「186」などをダイヤルして②～⑤の操作を行います。

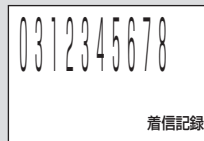
（「184」や「186」などを親機が発信中のときは、②～⑤の操作を行うことができません。少し待ってから②～⑤の操作を行ってください。）



子機の着信記録を使って電話をかける

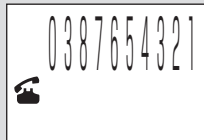
通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1. 左の矢印ボタンを2回押す



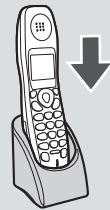
- 最後にかかってきた番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。

2. 上または下の矢印ボタンで選んだあと、通話ボタンを押す



- 下の矢印ボタンを押すと1件古い着信記録を表示します。
- 上の矢印ボタンを押すと1件新しい着信記録を表示します。
- スピーカーホンで話すときは、スピーカーホンボタンを押します。

3. 通話が終わったら充電器に戻す



- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

着信記録を使って電話をかける

ナンバーディスプレイ

途中でやめるときは

切ボタンを押します。

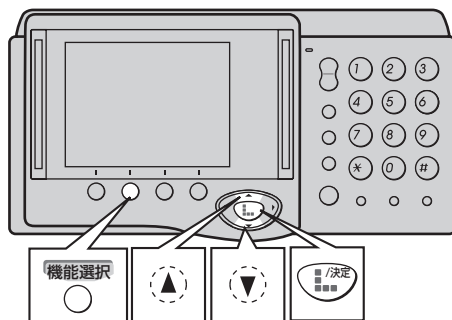
お知らせ

- 発信電話番号情報がない場合や受信エラーなどのときは電話をかけることはできません。
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイには、親機では20ケタ表示しますが、子機では12ケタまでしか表示しません。
- 親機でコピー中・プリント中のときは、子機の使用はできません。



着信記録を使ってファクスを送る

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。



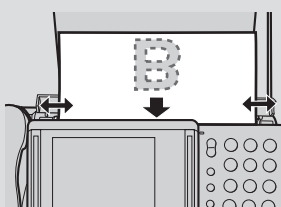
着信記録を使ってファクスを送る
ディスプレイ



親機の着信記録を使ってファクスを送る

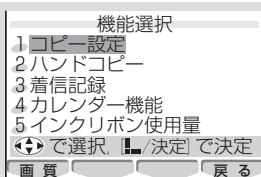
- 1** 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ

原稿をウラ向きにセットする



- 送信する面を下にしてセットします。
(一度に5枚まで)
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。
(☞ 3-4ページ) 画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

- 2** 機能選択を押す



- 3** ▲または▼で「着信記録」を選ぶ

- 4** 決定を押す



- 最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。(親機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。)

- 5** ▲または▼で選んだあと、決定を押す



- ▼を押すと1件古い着信記録が選択されます。
- ▲を押すと1件新しい着信記録が選択されます。
- このあと、自動的に送信を始めます。

- 途中でやめるときは



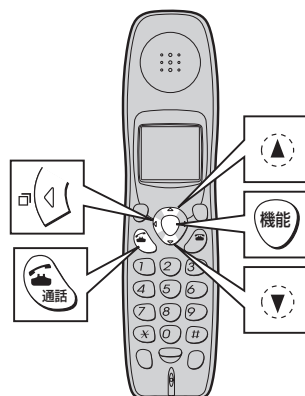
を押します。

- 「通信エラーがありました。」と聞こえたら
(☞ 9-22ページ)

- 原稿がつまったときは (☞ 9-6ページ)

着信記録を使ってファクスを送る

子機でも、かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。

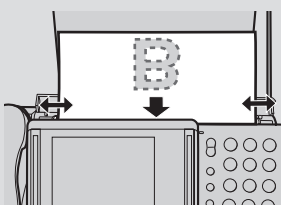


子機の着信記録を使ってファクスを送る



1 親機

原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ



原稿をウラ向きにセットする

- 送信する面を下にしてセットします。
(一度に5枚まで)
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。
(☞3-4ページ) 画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 子機

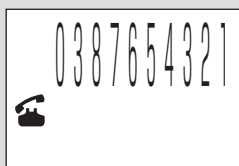
を2回押す



- 最後にかかってきた番号を表示します。子機の電話帳に登録している番号のときは、名前を表示します。

3 子機

または で選んだあと、
 を押す



- を押すと1件古い着信記録を表示します。
- を押すと1件新しい着信記録を表示します。
- 通話ボタンが点灯します。

4 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

を押す

- 相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは、電話がつながったら、機能ボタンを押します。
- 相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。
(おまかせ送信 ☞4-3ページ)

5 子機

充電器に戻す



■途中でやめるときは

を押します。

■原稿がつまったら (☞9-6ページ)

着信記録を使ってファクスを送る

ナ
デ
イ
ス
フ
レ
イ



着信記録から親機の電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を親機の電話帳に登録することができます。

着信記録から親機の電話帳に登録する

ナビダイヤル



着信記録から親機の電話帳に登録する



1 機能選択 を押す

機能選択

- 1 コピー設定
- 2 ハンドコピー
- 3 着信記録
- 4 カレンダー機能
- 5 インクリボン使用量

で選択, /決定 で決定

画面 戻る

7 「読み」が正しければ
決定 を2回押す

●第1番号として登録されます。

2 ▲または▼で
「着信記録」を
選び、決定 を押す

着信記録 2002年 9月 1日 (日) 2:45pm

9/20 2:00pm	池田 悟
9/18 11:00pm	0987654321
9/15 5:00pm	

で選択, /決定 で発信,
新規登録 戻る

8 電話番号 (第2番
号) を入れる
(最大32ケタ)

< 第2番号 >
NO. = 09012345678

最後に /決定 で決定します

文字切替 取消

●第2番号の入力は省略できます。
省略するときは、この手順をとばして手順
9に進んでください。

3 ▲または▼で
登録する番号を
選ぶ

- ▼を押すと1件古い着信記録が選択されます。
- ▲を押すと1件新しい着信記録が選択されます。

4 新規登録 を押す

< 名前 > [漢/かな]

>

[タ/ヤル] で文字入力, [取消] で
文字切替 取消

9 決定 を押す

< メールアドレス > 半 [英]

>

[タ/ヤル] で文字入力, [取消] で
文字切替 取消

10 メールの宛先を入
れる (最大半角
50文字)
(2-13ページ)

< メールアドレス > 半 [英]
miura@xx.yy.zz.co.jp

>

[タ/ヤル] で文字入力, [取消] で
文字切替 取消

5 名前を入れる
(最大全角10文
字/半角20文字)
(1-39~1-
42ページ)

< 名前 > [漢/かな]
三浦 サオリ

>

[タ/ヤル] で文字入力, [取消] で
文字切替 取消

11 決定 を押す

着信記録 2002年 9月 1日 (日) 2:45pm

登録しました
残り 96件

新規登録 戻る

●続けて登録するときは手順3~11をくり
返し行ってください。

6 決定 を押す

< 読み > 半 [カ]
ミウ サリ

>

[タ/ヤル] で文字入力, [取消] で
文字切替 取消

●「読み」に変更があれば修正します。
(1-39~1-42ページ)

12 停止 を押す

■途中でやめるときは

停止 を押します。

■1つ前に戻るときは

戻る または 取消 を押します。

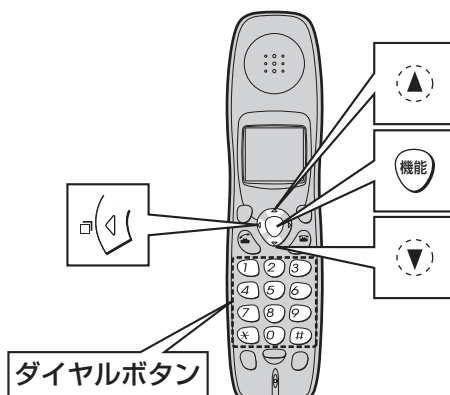
■親機の電話帳の内容を1件ずつ消すときは
(2-14ページ)

■親機の電話帳の内容をすべて消去するとき
(10-4ページ)

着信記録から子機の電話帳に登録する



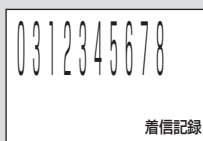
着信記録の中の電話番号を子機の電話帳に登録することができます。



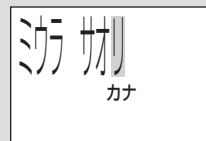
着信記録から子機の電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を2回押す

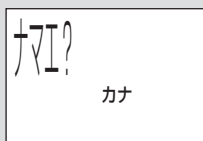


3 名前を入れる
(最大12文字)
(☎ 1-43~1-46ページ)

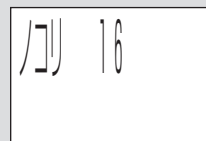


● 名前の入力を省略するときは機能ボタンを押すと登録を完了します。

2 または で登録する番号を選んだあと、 を押す



4 を押す



● 「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

■ 途中でやめるときは

を押します。

■ 子機の電話帳の内容を消すときは
(☎ 2-19ページ)

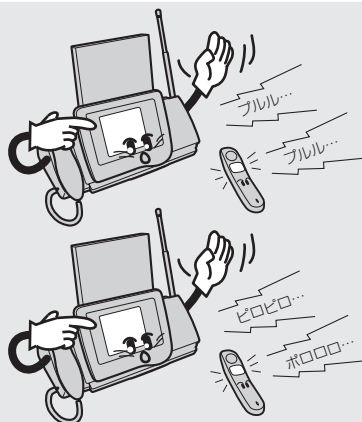
着信記録から子機の電話帳に登録する

ナンバー・ディスプレイ



着信鳴り分け

NTTのナンバー・ディスプレイを契約（有料）すると、電話がかかってきたときに、親機では、「親機の電話帳に登録されている相手の方」からの着信に合わせて呼出音を変えることができます。子機では、「子機の電話帳に登録している方」、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」からの着信に合わせて呼出音を変えることができます。はじめ、親機は「2：なし」に設定されています。子機は「解除」に設定されています。



着信鳴り分けを設定していない相手の方のとき

親機では、1-33ページで設定した呼出音が鳴ります。
子機では、1-34ページで設定した呼出音が鳴ります。

着信鳴り分けを設定した相手の方のとき

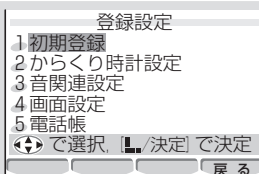
親機では、親機の電話帳に登録されている方のみ
8-19ページで設定した呼出音が鳴ります。
子機では、着信の種類に合わせて8-20ページで設定した呼出音が鳴ります。



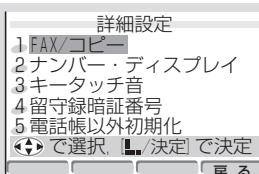
親機の鳴り分けを設定する

受話器を置いたまま操作します。

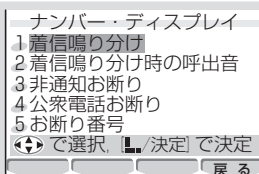
1 「登録」を押す



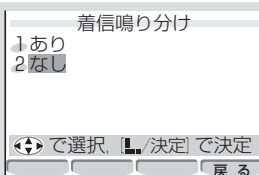
2 ▲または▼で「詳細設定」を選び、決定を押す



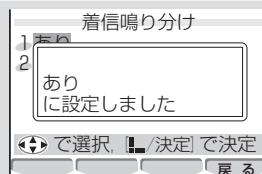
3 「ナンバー・ディスプレイ」を選び、決定を押す



4 「着信鳴り分け」を選び、決定を押す



5 ▲または▼で「あり」を選び、決定を押す



- 「あり」に設定されます。
- 「なし」を選びし/決定ボタンを押すと「親機の着信鳴り分け」を解除します。

6 停止を押す

着信鳴り分け

ナンバー・ディスプレイ

■途中でやめるときは

停止
⏏を押します。

■1つ前に戻るときは

戻る
⏪を押します。



お知らせ

- かかってくる相手の方ごとに呼出音を変えることはできません。



着信鳴り分け時の呼出音を選びます。

❌
❌
親機の鳴り分け時の呼出音を選ぶ

1 「登録」を押したあと、▲ または ▼ で「詳細設定」を選び、決定を押す

詳細設定

1 FAX/コピー

2 ナンバー・ディスプレイ

3 キータッチ音

4 留守録暗証番号

5 電話帳以外初期化

◀▶ で選択 [決定] で決定

戻る

4 ▲ または ▼ で呼出音を選んだあと、決定を押す

電子音

1 登録する

2 演奏する

◀▶ で選択 [決定] で決定

戻る

2 「ナンバー・ディスプレイ」を選び、決定を押す

ナンバー・ディスプレイ

1 着信鳴り分け

2 着信鳴り分け時の呼出音

3 非通知お断り

4 公衆電話お断り

5 お断り番号

◀▶ で選択 [決定] で決定

戻る

固定メロディー	1	電話ベル音
	2	鳥の声
	3	電子音
	4	TOYS SYMPHONY
	5	トルコ行進曲
	6	華麗なる大円舞曲
「Lモード」からのダウンロード※	7	(ダウンロードメロディ1)
	8	(ダウンロードメロディ2)
	9	(ダウンロードメロディ3)

※7～9の呼出音は、「Lモード」からメロディーをダウンロード (P.7-35ページ) した場合に表示されます。

3 ▲ または ▼ で「着信鳴り分け時の呼出音」を選び、決定を押す

着信鳴り分け時の呼出音

2 鳥の声

3 電子音

4 TOYS SYMPHONY

5 トルコ行進曲

6 華麗なる大円舞曲

◀▶ で選択 [決定] で決定

戻る

5 ▲ または ▼ で「登録する」を選び、決定を押す

電子音

1 登録する

2 演奏する

電子音に設定しました

◀▶ で選択 [決定] で決定

戻る

■ 途中でやめるときは

停止 (停止ボタン) を押します。

■ 1つ前に戻るときは

戻る (戻るボタン) を押します。

6 停止 (停止ボタン) を押す



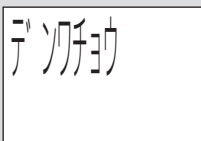
子機では、「子機の電話帳に登録している方」「非通知の電話」「公衆電話」「表示圏外」の4項目ごとに呼出音を変えることができます。



子機の鳴り分けを設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

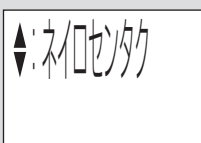
- 1** を押したあと、またはで「チャクシンナリワケ」を選び、を押す



- 4** を押す

- 機能ボタンを押すと、「ピー」と鳴って着信鳴り分けが設定されます。

- 2** またはで鳴り分けをしたい項目を選んだあと、を押す



- 設定している呼出音が鳴ります。

- 3** またはで呼出音を選ぶ

- 選ぶたびに、呼出音（確認音）が鳴ります。

固定メロディー	01	「ブルブルル ブルブルル」
	02	「ポロロロ ポロロロ」
	03	「ショートメロディー①」
	04	「ショートメロディー②」
	05	「ショートメロディー③」
	06	「展覧会の絵」
	07	「エリーゼのために」
	08	「のぼら」
	09	「春」
オリジナルメロディー	10	「オリジナル」※

※「自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）」
（6-6～6-11ページ）で作ると選ぶことができます。

■途中でやめるときは

を押します。

■子機の着信鳴り分けを解除するとき

手順3で、「ピピッ」と鳴るまで

またはを押して、を押します。



お知らせ

- 個人別に鳴り分けを設定することはできません。

着信の種類に合わせてお断りのメッセージを流す



電話がかかってきたときに、「非通知の電話」、「公衆電話からの電話」など着信の種類に合わせて、お断りのメッセージを流すことができます。こちら側では呼出音は鳴りません。
はじめは「1：なし」に設定されています。

「非通知お断り」のとき

【相手側】

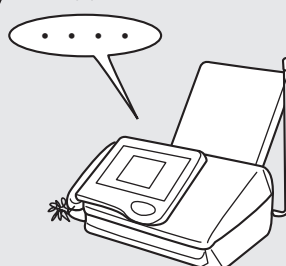


「この電話は、お受けすることはできません。おそれいりますが電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど電話番号を通知しておかけ直してください。」

※お断りのメッセージが3回流れたあと電話が切れます。

【こちら側】

呼出音は鳴りません。



「公衆電話お断り」のとき

【相手側】

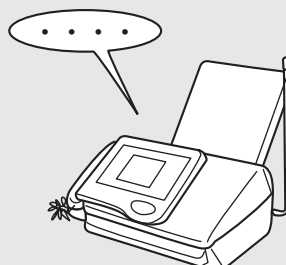


「この電話は、お受けすることはできません。」

※お断りのメッセージが3回流れたあと電話が切れます。

【こちら側】

呼出音は鳴りません。



着信の種類に合わせてお断りのメッセージを流す

ナンバー・ディスプレイ

お知らせ

- お断り応答にしたときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。



着信の種類に合わせてお断りのメッセージを流す

着信の種類に合わせてお断りのメッセージを流す

ナンバー・ディスプレイ



非通知お断りや公衆電話お断りを設定する



1 登録を押す



登録設定

- 1 初期登録
- 2 からくり時計設定
- 3 音関連設定
- 4 画面設定
- 5 電話帳

◀▶ で選択, [決定] で決定

戻る

2 ▲または▼で「詳細設定」を選び、[決定]を押す

詳細設定

- 1 FAX/コピー
- 2 ナンバー・ディスプレイ
- 3 キータッチ音
- 4 留守録暗証番号
- 5 電話帳以外初期化

◀▶ で選択, [決定] で決定

戻る

3 「ナンバー・ディスプレイ」を選び、[決定]を押す

ナンバー・ディスプレイ

- 1 着信鳴り分け
- 2 着信鳴り分け時の呼出音
- 3 非通知お断り
- 4 公衆電話お断り
- 5 お断り番号

◀▶ で選択, [決定] で決定

戻る

非通知お断りを設定するとき

4 ▲または▼で「非通知お断り」を選び、[決定]を押す



非通知お断り

- 1 なし
- 2 お断り

◀▶ で選択, [決定] で決定

戻る

公衆電話お断りを設定するとき

4 ▲または▼で「公衆電話お断り」を選び、[決定]を押す



公衆電話お断り

- 1 なし
- 2 お断り

◀▶ で選択, [決定] で決定

戻る

■途中でやめるときは



を押します。

■1つ前に戻るときは



を押します。

5 ▲または▼で「お断り」を選び、[決定]を押す

非通知お断りを設定したとき

非通知お断り

- 1 なし
- 2 お断りに設定しました

◀▶ で選択, [決定] で決定

戻る

公衆電話お断りを設定したとき

公衆電話お断り

- 1 なし
- 2 お断りに設定しました

◀▶ で選択, [決定] で決定

戻る

- 「なし」：お断りを使用しません。
- 「お断り」：お断りメッセージを流して、電話を切ります。

6 停止を押す

- 「お断り」にしたときは相手の方には呼出音が2回鳴ったあと、メッセージが3回流れて電話が切れます。

お知らせ

- 非通知や公衆電話からの電話がかかってきたとき、親機の左右ライトやソフトボタンは光りません。
- 非通知や公衆電話からの電話がかかってきたとき、呼出音はこちら側では鳴りません。
- コピー中や受信メモリーをプリントしているときに非通知や公衆電話からの電話がかかってきたときは、相手の方には呼出音が鳴ります。プリントが終わったあと、相手の方にお断りのメッセージが流れます。
- 非通知お断りや公衆電話お断りを設定しても、ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りのメッセージは流れません。
- 電話を増設している場合、お断り応答にしても、こちら側で呼出音が鳴ることがあります。

特定の番号からの電話にお断りのメッセージを流す



登録したお断り番号の相手の方から電話がかかってきたとき、お断りのメッセージを流すことができます。

お断りする番号を登録したときは

(相手側)

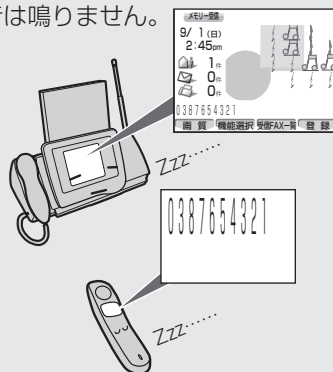


「この電話は、お受けすることはできません。」

呼出音が2回鳴り、メッセージが3回流れたあと、電話が切れます。

(こちら側)

呼出音は鳴りません。



特定の番号からの電話にお断りのメッセージを流す

ナンバー・ディスプレイ



お断りする番号を登録する

1 登録を押す



登録設定

- 1 初期登録
- 2 からくり時計設定
- 3 音関連設定
- 4 画面設定
- 5 電話帳

◀で選択 [決定]で決定

戻る

2 ▲または▼で「詳細設定」を選び、決定を押す

詳細設定

- 1 FAX/コピー
- 2 ナンバー・ディスプレイ
- 3 キータッチ音
- 4 留守録暗証番号
- 5 電話帳以外初期化

◀で選択 [決定]で決定

戻る

3 「ナンバー・ディスプレイ」を選び、決定を押す

ナンバー・ディスプレイ

- 1 着信鳴り分け
- 2 着信鳴り分け時の呼出音
- 3 非通知お断り
- 4 公衆電話お断り
- 5 お断り番号

◀で選択 [決定]で決定

戻る

4 ▲または▼で「お断り番号」を選び、決定を押す

お断り番号 登録 0件 (残り 30件)

◀で選択 [新規登録]で番号

新規登録 戻る

5 新規登録を押す



お断り番号

No. =

相手番号を入力してください

戻る

6 電話番号を入れる (最大20ケタ)

お断り番号

No. = 0387654321

最後に [決定]で決定します

取消

- 電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。市外局番を登録しないと通常の着信となり、呼出音が鳴ります。
- 番号を入れまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

7 決定を押す

お断り番号 登録 1件 (残り 29件)

登録しました

新規登録 戻る

- 手順5～7をくり返して、最大30件までの番号を登録できます。

8 停止を押す


停止





特定の番号からの電話にお断りのメッセージを流す













■ 途中でやめるときは

 を押します。






■ 1つ前に戻るときは

 または  を押します。

■ 登録したお断り番号を1件ずつ消すときは

- ①  を押す
- ②  または  で「詳細設定」を選び、 を押す
- ③ 「ナンバー・ディスプレイ」を選び、 を押す
- ④  または  で「お断り番号」を選び、 を押す
- ⑤  または  で消去するお断り番号を選ぶ
- ⑥  を2回押す
(続けて他の登録番号を消すときは、⑤～⑥をくり返す)
- ⑦  を押す

■ 登録したお断り番号をすべて消すときは

- ①  を押す
- ②  または  で「お断り番号 全消去」を選び、 を押す
- ③  を押す

特定の番号からの電話にお断りのメッセージを流す

ナンバー・ディスプレイ

お知らせ

- お断りする番号を登録したときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください。
- お断り番号の登録（最大30件）ごとに別々の受けかたを設定することはできません。
- お断り番号を登録しても、ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りのメッセージは流れません。
- お断りする番号からの着信があった場合、親機の左右のライトやソフトボタンは光りません。
- お断りする番号からの着信があった場合の呼出音の回数は2回です。変更することはできません。